表 7.1.2-4　「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会

研究専門委員会の活動

１．Phébus FP プロジェクト(Phébus FPP)関連論文の調査報告書(本専門委準備会成果)をベースに、新たな技術サーベイを加え、FP 挙動に関する情報の共有化を図り、共通技術基盤上に新たな技術者集団を構築する。

２．福島第一原発事故(実機事故)で見られた過酷事故時の FP 挙動をサーベイし、FP 挙動評価の視点から、従来技術で予測されたものと、予測できなかった現象を区分し、新たな技術課題を整理する。

３．上記１．２．に FP 挙動に係る新しい技術課題を加えて、技術報告書（応用編）としてまとめ、現場での実務者、若手技術者との協働をも通して、FP 挙動に関する技術伝承に資する。

４．上記３．をベースに、40 年超の長期にわたる技術継続、継承に資する。

WG#	名称	主要検討内容	主要成果目標
WG1	FP 実験	FP 放出･移行･環境動態に係る現象を把握･理解し、把握･理解し、物理現象を適切に表現できるモデルを構築するための実験および解析を提案	①新たな実験の提案 ②FP 挙動についての検討課題リスト
WG2	ベンチマーク(BM)評価	主要 SA 解析コードの FP モデルを Phébus FPP の BM 評価を通して理解し、Cs 解析技術の課題を把握実機事故の解析結果に基づき、モデル改善の技術課題を摘出	③Cs 解析改善点の提案 ④FP モデル改善の提案
WG3	技術課題摘出	Phébus FPP 実験と実機での FP 挙動を比較検討し、両者の FP 挙動の相違を検討し、新たな技術課題を抽出	⑤実機 FP マスバランス ⑥実機での測定対案 ⑦新たな実験の提案

成果をまとめ、技術報告書作成に寄与